
詰まる所、矛盾という言葉が一番正しい。

MEBIUS

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詰まる所、矛盾という言葉が一番正しい。

【Nコード】

N5708Q

【作者名】

MEBIUS

【あらすじ】

最強の矛と最強の盾、ぶつけ合えばどちらが勝つの？

簡単な話さ、勝敗なんて無い。この世に『最強』があるなら見てみたいくらいだからね。

(前書き)

人間として生きると言う事は辛い。理性があると言うのは辛い。僅かでも知恵があるとと言うのは辛い。

理性があるから想いの丈を伝えられない。知恵があるから悪巧み
が出来る。

人間として生きるのは、辛い。

歌が聞こえた。様々な声で、様々な音色で、様々な歌が聞こえた。

『他人ひとの評価なんて関係ない』

『君たちそれぞれの個性が大事』

『自分の信じることをしろ』

訴えかけるような歌声が、そこかしこで聞こえている。それが大切な事で、真実である事は間違いない。

けれど、自分の信じるように行動をすれば、『あいつは他とは違う』と否定される。

自分らしさを出して、アピールしてみれば、『あいつは変だ』と後ろ指を指される。

評価を気にせず戦ってみれば、『あいつは負け犬だ』と笑われる。詰まりは、歌が語る事は真実だが、世の中では嘘偽りなのだ。大切な事だが、重要視はされないのだ。

詰まりは、この世は矛盾を説いているのだ。

子供の頃の記憶が蘇る。歌の内容と全く同じ言葉を、僕らは教師達から教わった。絶対に忘れてはいけない、大切な心なのだ。

結局僕らは、幼少の頃に先人達から教わった大切な事を、先人達によって押し折られると言う訳だ。信じ込まされるまま生きてきて、裏切られたと言う落ちらしい。

歌が聞こえる。

『立ち止まっても、また歩き出せばいい』

『壁があれば、乗り越えればいい』

それは真実なの？嘘なの？

大切な事なの？どうでもいい事なの？

信じていいの？裏切られないの？

僕は歩けない。歩き出せない。何を信じて、何を支えに生きればいいのか、もう分からない。

誰か、教えてほしい……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5708q/>

詰まる所、矛盾という言葉が一番正しい。

2011年10月6日19時53分発行